

子育て中の保護者を「支援される側」から「支援する側」の人材に  
～第 1 回アナログあそびサポーター養成のための連続講座～

実 施 者：あそぶよむつくる ぶほ 佐藤 美和

アイデアの内容：積み木やカードゲーム等のアナログ遊びは、親子がふれあいながらアナログ遊びの良さを学んだり、共通の趣味・趣向に気付く場面が多く見られます。

今までは参加者として「支援される側」だった保護者が、「支援する側」になっていきかけを提供する連続講座を開き、受講者を「アナログあそびサポーター」として認定することで、アナログ遊びを活用した本市の子育て環境の充実を図るもの

開 催 日：①平成 29 年 9 月 26 日（火）10：30～12：00

参加者：保護者 26 名 乳幼児 4 名

テーマ：アナログ遊びサークル 2 団体の実践報告を聞いてみよう

報告者：清水地区キンダーシュピールプラッツ 佐藤 美和

広田地区レーゲンボーゲン 中山 雅子

②平成 29 年 10 月 27 日（金）10：00～15：00

参加者：保護者 29 名 乳幼児 7 名

テーマ：より深くおもちゃのことを知ってあそんでみよう

講 演：午前「乳幼児の発達とおもちゃとあそび」

午後「児童期に体験させたいあそび」

講 師：奈良県子どもと育ち総合研究所 所長 宮野 亮

③平成 29 年 11 月 21 日（火）10：30～12：00

参加者：保護者 21 名 乳幼児 3 名

テーマ：アナログ遊びサポーターになる前に

講 演：安全・安心な施設を運営するために心がけておくこと

一般社団法人くすのき 小村 智美

グループワーク：安全な活動・好奇心を満たす活動とは

STEPLAN 株式会社 本村 麻季子

場 所：花園町ボランティア研修室

実 施 結 果：全日程受講者 **15 名**を「アナログ遊びサポーター」として認定（総受講者 32 名）

実施者の言葉： 第1回目のアナログ遊びサークルの実践報告の講座後、早速、近所の公園でアナログ遊びサポーターとして見守りの自主活動を始めた方や、参加者同士共通の趣味を見つけサークル活動をしてみたいという方々が現れました。具体的な事例を映像で見たり報告として聞くことで、自分にもできるかもと一歩を踏み出した保護者が出てきたのだと考えます。講座実施期間が3ヶ月と長かったため、つながりができやすく講座以外にも個別に相談対応することで、講座開催中にサークルの立ち上げが実現しました。

また、受講者の中に既に子ども食堂や家庭文庫の活動をされている団体のメンバーがいたこともあり、1月開催のイベントで数団体のコラボ企画を提案していただきました。アナログ遊びサポーター有志でのプロジェクトチームができ、イベントでのワークショップ出展をすることが決定しています。来場する親子にあそびの場の提供ができるように研修会を開き、準備を進めていきます。本講座を受講することがきっかけになり、自分の子どもだけでなく、地域の親子の遊びも充実させたいというおせっかいの心が芽生えた方が数名現れました。

## 開催の様子

### 講座①



### 講座②



### 講座③

